

各 位

平成 30 年 3 月 29 日

会 社 名 ピクセルカンパニーズ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 吉田 弘明
(コード番号 2743 JASDAQ)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取締役副社長兼コーポレート本部長 本瀬 建
電 話 03-6731-3414

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、第 33 期（2018 年 12 月期）から第 35 期（2020 年 12 月期）までの期間を対象とする中期経営計画について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 計画期間
第 33 期（2018 年 12 月期）～第 35 期（2020 年 12 月期）

2. 経営計画

	2018 年	2019 年	2020 年
売上高	4,785 百万円	5,575 百万円	6,208 百万円
営業利益	100 百万円	156 百万円	264 百万円
当期純利益	10 百万円	83 百万円	169 百万円

3. 今後について

当該中期経営計画については、毎年見直しを行い、当該計画に対する進捗状況について公表させていただきます。

なお、別添資料にて詳細を記載しております。

以上

PIXEL

COMPANYZ INC.

中期経営計画 2018－2020年

2018年 3月 29日
ピクセルカンパニーズ株式会社

PIXEL COMPANYYZ GROUP

PIXEL COMPANYYZ 概要

名称 ピクセルカンパニーズ株式会社
 – PIXEL COMPANYYZ INC. –

設立 1986年10月

資本金 1,741百万円

従業員数 59名（連結）

証券取引所 東京証券取引所
 JASDAQ（スタンダード）

事業内容 グループ全体の経営方針・
 戦略策定・経営管理

PIXEL COMPANYYZ GROUP 概要

持株会社 ピクセルカンパニーズ株式会社

Fintech・IoT
事業 ピクセルソリューションズ株式会社
 [旧社名：株式会社アフロ]

IR関連事業 LT Game Japan株式会社

再生可能
エネルギー事業 ピクセルエステート株式会社
 [旧社名：
 ハイブリッド・ファシリティーズ
 株式会社]

目次

- 01 2017年度までの取組み
- 02 経営方針と経営課題
- 03 経営戦略 <2018年～2020年>
- 04 セグメントの概要
- 05 数値計画 <連結計画>
- 06 数値計画 <セグメント別計画>

目次

- 01 2017年度までの取組み
- 02 経営方針と経営課題
- 03 経営戦略 <2018年～2020年>
- 04 セグメントの概要
- 05 数値計画 <連結計画>
- 06 数値計画 <セグメント別計画>

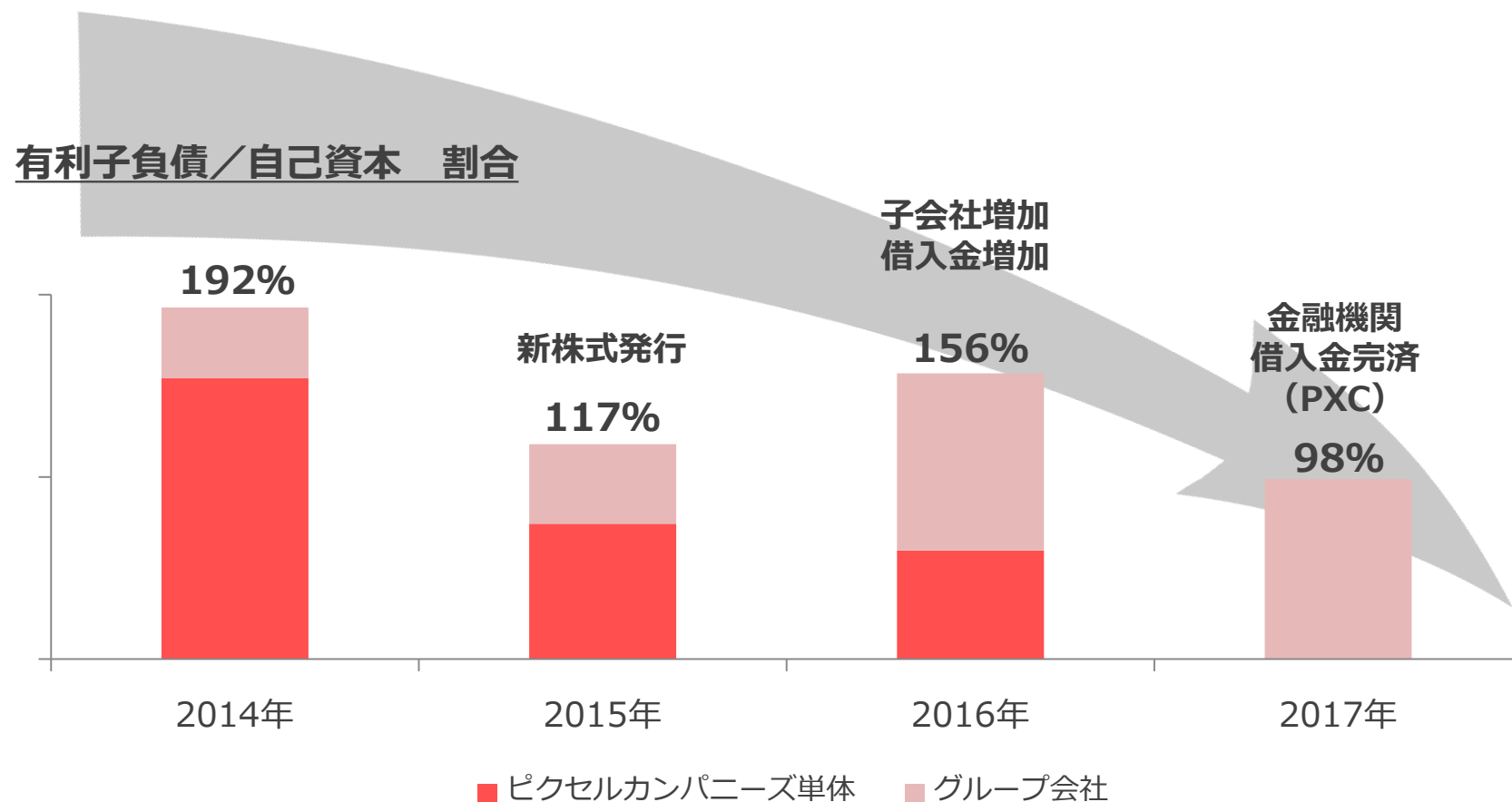
✓ 事業ドメインの選択と集中・財務体質の強化改善を実施

年度	事業ドメイン拡大	投資事業ドメインの 選択と集中	資本政策
2014年	新経営体制発足		
2015年	会社新設分割による持株会社体制化・商号変更		
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 太陽光発電事業強化 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 新株式発行による増資 ■ 新株予約権の発行
2016年	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新規参入事業 美容関連事業・半導体事業 システム開発事業 IR関連事業 		<ul style="list-style-type: none"> ■ 株式交換による株式数増加 ■ 新株予約権行使による増資
2017年		<ul style="list-style-type: none"> ■ 撤退事業 美容関連事業・半導体事業 オフィス消耗品販売事業 その他不採算事業 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新株予約権の発行 ■ 新株予約権行使による増資

✓ 成熟市場から成長市場へ事業ドメインのシフト



✓ 単体における有利子負債ゼロ達成
2017年度グループ有利子負債割合 2014年度比94%減少
増資によりグループ運転資金調達実施




2期連続の当期純損失計上も事業ドメイン改革の完了

【単位：百万円】

	2014年	2015年	2016年	2017年
売上高	16,139	15,921	17,678	11,325
営業利益	▲521	45	▲174	▲1,244
当期純利益	▲497	1	▲215	▲2,670
純資産	1,100	1,546	2,776	759
自己資本比率(%)	20.8%	29.1%	28.5%	32.7%

※連結の業績には、撤退した事業の業績及びセグメントに属さない部門の費用等が含まれております。

✓ 2017年度は構造改革及び先行投資による投資期間

【単位：百万円】

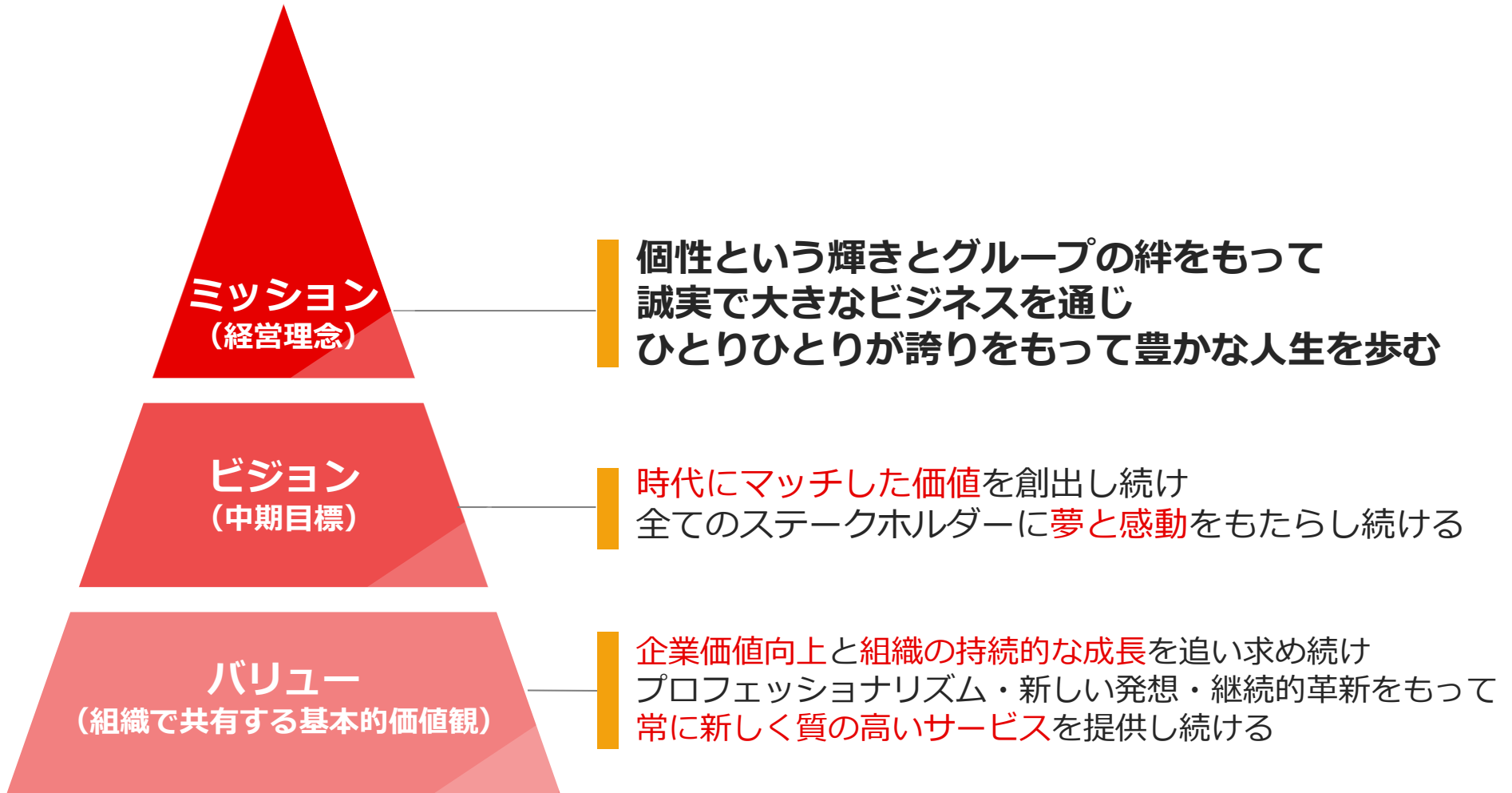
セグメント名称	売上高	セグメント利益	実施事項
Fintech・IoT事業	839	▲248	コスト構造の見直しに伴う人員削減等、研究開発、のれん一時償却 マイニング事業の開始
IR関連事業	0	▲650	新機種・新タイトルの開発、販路構築
再生可能エネルギー事業	1,956	23	仕入先強化・新規案件開拓

※Fintech・IoT事業の業績には、2017年に株式譲渡により連結除外した半導体製品の製造・開発事業の業績は含めておりません。

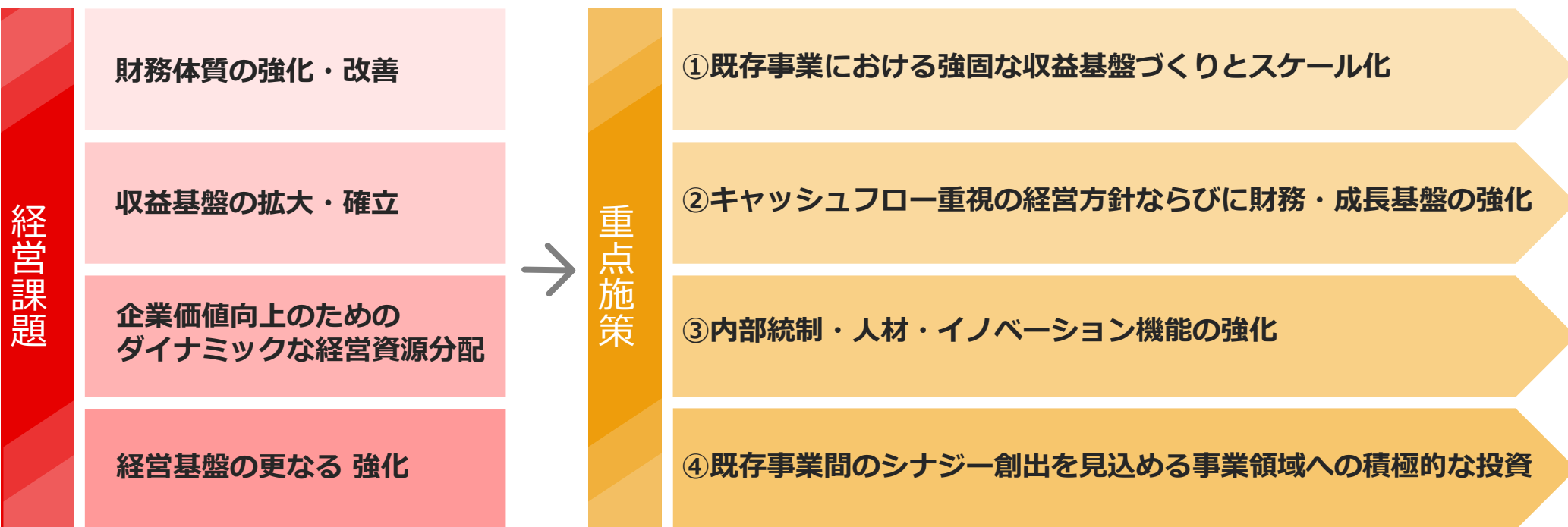
目次

- 01 2017年度までの取組み
- 02 経営方針と経営課題
- 03 経営戦略 <2018年～2020年>
- 04 セグメントの概要
- 05 数値計画 <連結計画>
- 06 数値計画 <セグメント別計画>

✓ 新経営方針



✓ 4つの重点施策を達成し続けることにより経営課題を解決し、企業価値向上を目指す



目次

- 01 2017年度までの取組み
- 02 経営方針と経営課題
- 03 経営戦略 <2018年～2020年>
- 04 セグメントの概要
- 05 数値計画 <連結計画>
- 06 数値計画 <セグメント別計画>

✓ 中期経営計画達成のための3つの戦略を実施

- 収益資産に対する積極投資
- 事業の持続的成長に向けた投資戦略
- 管理体制強化に向けた機能戦略

✓ 3年間累計目標投資額 約80億円・安定収益の獲得

✓ ASIC・プラットフォームへ4.5億円の投資により
マイニング報酬獲得

Fintech・IoT事業

対象資産

- ・ASIC（集積回路）
仮想通貨のマイニングマシン等
- ・マイニングプラットフォーム

投資予定額：4.5億円



対象資産による収益

仮想通貨のマイニング報酬

✓ カジノマシン・プラットフォームへ4.5億円の投資により
レベニューシェア展開

IR関連事業

対象資産

- ・カジノゲーミングマシン
- ・カジノプラットフォーム

投資予定額：4.5億円



対象資産による収益

レベニューシェアによる収益

✓ 太陽光発電施設へ71億円の投資により売電収益獲得

再生可能 エネルギー事業

対象資産

太陽光発電施設 等

投資予定額：71億円



対象資産による収益

再生可能エネルギーの売電

✓ **事業間の連携によりシナジー獲得**

PIXELCOMPANYZ 投資方針

✓ **シナジー創出**

既存事業間シナジーによる
新市場創出へ向けた投資

✓ **持続的な事業成長**

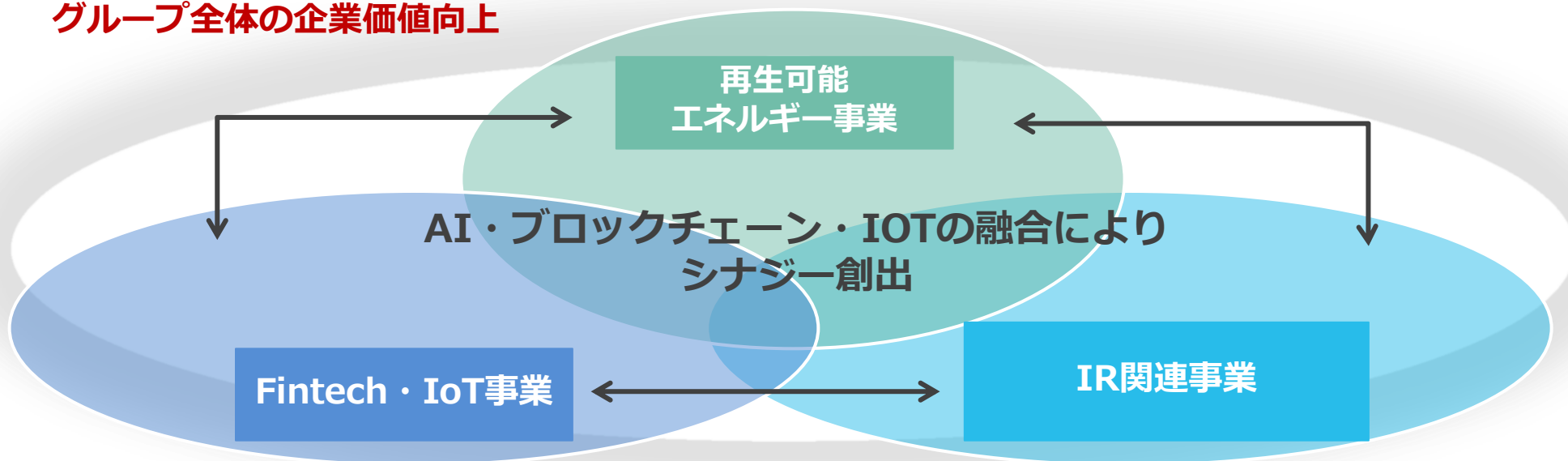
新たな価値の創造へ向けた
投資

✓ **安定収益の獲得**

収益資産への投資



グループ全体の企業価値向上



✓ ガバナンス体制の強化及び人材・イノベーション機能の強化によりグループ全体の管理体制を強化

✓ 機動的な意思決定が可能な組織体制の構築

ガバナンス体制の強化

- ◆ 内部監査部門の監査プロセス強化
- ◆ 社内規定の統一・コンプライアンス強化
により、社会的信用力の向上
- ◆ 社外取締役1名を増員、経営監督機能を強化
- ◆ 社外取締役、監査役の各専門性を活用し、
コンプライアンス機能の強化

✓ 事業の効率化・事業成長の最短化

人材・イノベーション機能の強化

- ◆ 経営意識を持ち事業運営できる人材の育成
- ◆ 取組を推進する実行力を強化、
イノベーションを実現する
- ◆ グループシナジーを創出する構想力の構築
- ◆ 新たな価値を持続的に提供

✓ 収益資産に対する投資により、中長期的な収益基盤の強化を実施

	事業ドメイン	Fintech・IoT事業	IR関連事業	再生可能エネルギー事業
現在	事業の現状	システムの開発・受託 技術支援サービス派遣	カジノゲーミングマシン 企画・開発・製造・販売	太陽光発電施設 販売・取次
今後	収益資産に対する投資	ASIC（集積回路）の 保有による 仮想通貨のマイニング報酬 Fintech領域の拡大	カジノゲーミングマシンの 保有による レベニューシェア カジノ関連事業の 拡大・発展	太陽光発電施設等の 保有による 再生可能エネルギー売電 再生可能エネルギーの 事業領域拡大
		プラットフォームの確立		

✓ 調達した資金を各事業の収益資産に投資

エクイティファイナンス・ローン（社債、リース、ノンリコース等）・
I C O ・クラウドファンディング e t c .



Fintech・IoT事業

対象資産
・ A S I C （集積回路）
仮想通貨のマイニングマシン等
・ マイニングプラットフォーム

投資予定額：4.5億円



対象資産による収益
仮想通貨のマイニング報酬

I R 関連事業

対象資産
・ カジノゲーミングマシン
・ カジノプラットフォーム

投資予定額：4.5億円



対象資産による収益
レベニューシェアによる収益

再生可能
エネルギー事業

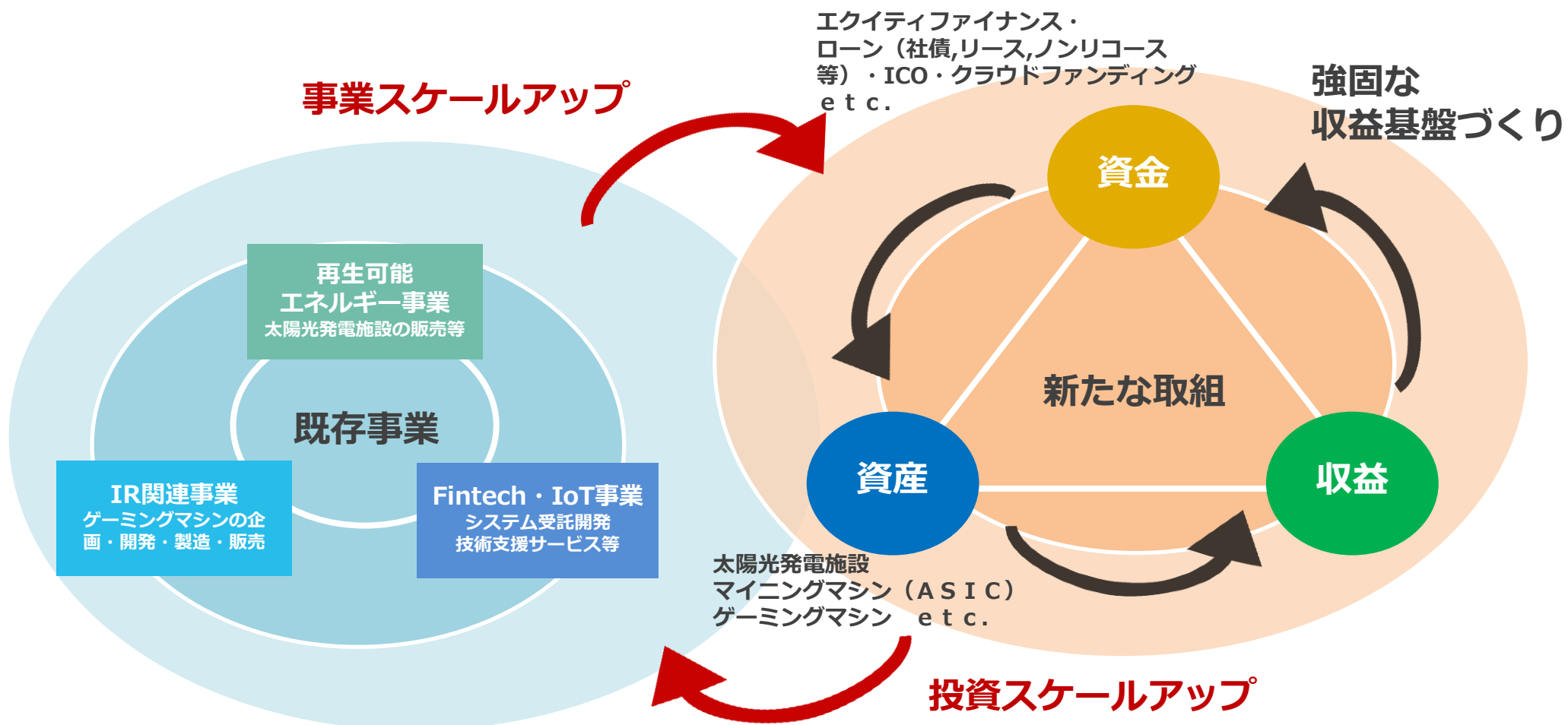
対象資産
太陽光発電施設 等

投資予定額：71億円



対象資産による収益
再生可能エネルギーの売電

- ✓ 収益資産に対する投資にシフトし、中長期的に安定した収益の獲得が可能な収益モデルの確立
事業セグメント毎の課題解決



目次

- 01 2017年度までの取組み
- 02 経営方針と経営課題
- 03 経営戦略 <2018年～2020年>
- 04 セグメントの概要
- 05 数値計画 <連結計画>
- 06 数値計画 <セグメント別計画>

✓ SI事業をコアにFintech・IoT事業を構築

事業概要

- システム開発の受託
- エンジニア派遣による技術支援サービス
- 取引先：金融機関

- スマートメーターの開発
(特許出願中の電子的封印技術)

事業の課題

- 人材（エンジニア）の不足
- キャッシュフローの圧迫
(技術開発費用)
(中期プロジェクトのエンジニア費用)

事業ドメイン内ポートフォリオ変革に向けた取組み

- 仮想通貨関連事業（マイニング事業）の開始
- 仮想通貨（ビットコイン等）のマイニング（採掘）
第一弾として中華人民共和国内モンゴル自治区
にマイニングファームを設置し事業開始
※内モンゴル自治区は寒冷地域であり、電気料金が安価である
ため高い投資リターンが見込める。

- (仮称)ピクセルマイニングプラットフォームの構築

事業のリスク

- 国内外法整備、規制

北欧エリア等、他エリアでのマイニング展開の検討
(電気料金が安価な寒冷地域でマイニングファームの検討)

✓ **カジノゲーミングマシンの企画・製造・開発・販売**
2017年までに1機種8TITLE開発・2018年3月までに海外カジノ施設2箇所に設置

事業概要

- カジノゲーミングマシン
企画・開発・製造・販売・保守
- 販売先：海外カジノ運営施設

製品ラインナップ（開発途中含む）・導入実績

- スロットマシン
RGX-1000シリーズ：12 TITLE
RGX-2000シリーズ：2 TITLE
- SIC-BOマシン
MD-01 : 1 TITLE
- 導入実績
韓国 MajestarCasino
ベトナム O.V.CLUB

事業の課題

- 開発・製造費用による
キャッシュフローの圧迫

事業ドメイン内ポートフォリオ変革に向けた取組み

- 海外カジノ運営施設への早期販売・設置
- カジノゲーミングマシンのレベニューシェア
- 海外カジノ運営施設やディストリビューターとのパートナー提携の新規獲得・強化

※レベニューシェア

複数の企業が一つの事業を提携して実施し、得られる利益を分配すること。

カジノ運営施設に当社保有のゲーミングマシンを設置し、売上の一部を収益として得る形態。

- (仮称)ピクセルカジノプラットフォームの構築

✓ 太陽光発電施設販売を主軸に、発電施設の自社保有による売電事業準備中

事業概要

- 太陽光発電施設の販売・設置・取次
- 小形風力発電施設の販売・設置・取次
- その他再生可能エネルギー関連商材販売等
- 販売先
法人・個人投資家

事業の課題

- 優良案件の仕入
- キャッシュフローの圧迫
(仕入～販売までが中長期)

事業ドメイン内ポートフォリオ変革に向けた取組み

- 発電施設の自社保有による売電事業の開始
(太陽光発電施設・小形風力発電施設)
- 中古太陽光発電施設の取扱い

■ 太陽光発電施設 投資計画概要

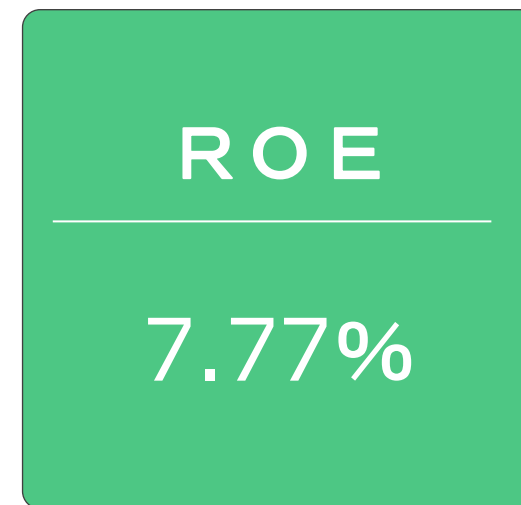
	2018年	2019年	2020年
発電容量	3 MW	6 MW	12MW
表面利回	11%		

目次

- 01 2017年度までの取組み
- 02 経営方針と経営課題
- 03 経営戦略 <2018年～2020年>
- 04 セグメントの概要
- 05 数値計画 <連結計画>
- 06 数値計画 <セグメント別計画>

- ✓ 『キャッシュ創出力強化』 『継続的黑字計上』 『投資効率向上』 により
企業価値向上に向けた定量目標の必達

2020年目標



$EBITDA = \text{営業利益} + \text{償却費}$

$ROE = \frac{\text{当期純利益}}{\text{自己資本}}$

✓ 2018年度から継続的な利益の計上・2020年度にROE7.77%達成

【単位：百万円】

	2017年実績	2018年	2019年	2020年
売上高	11,325	4,785	5,575	6,208
営業利益	▲1,244	100	156	264
当期純利益	▲2,670	10	83	169
ROE (%)	—(※)	0.52%	4.14%	7.77%
EBITDA	▲960	244	376	679

※2017年度ROEは、当期純損失であるため記載しておりません。

※連結の数値には、セグメントに属さない部門の費用等が含まれております。

目次

- 01 2017年度までの取組み
- 02 経営方針と経営課題
- 03 経営戦略 <2018年～2020年>
- 04 セグメントの概要
- 05 数値計画 <連結計画>
- 06 数値計画 <セグメント別計画>

✓ 2020年度セグメント売上高 2017年度比143%増加

実施する施策

事業コスト削減による高収益化

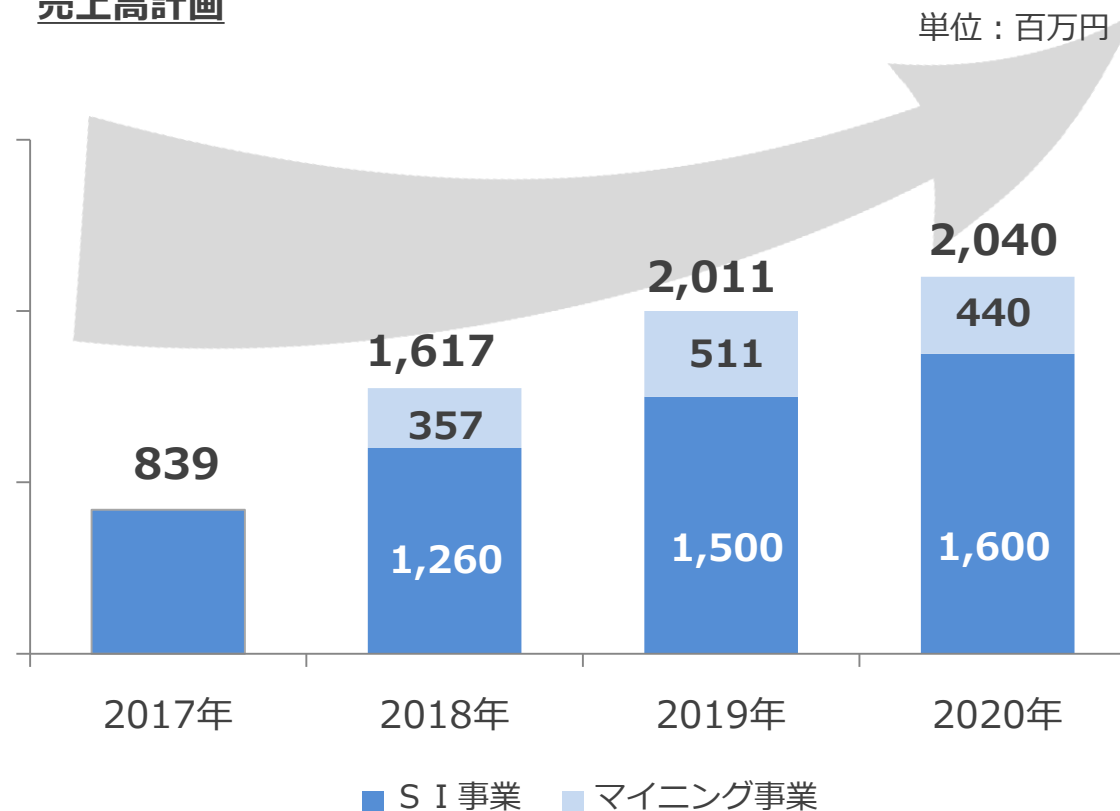
高利益率の受託案件の受注獲得

エンジニア数の増強

技術力向上による高付加価値化

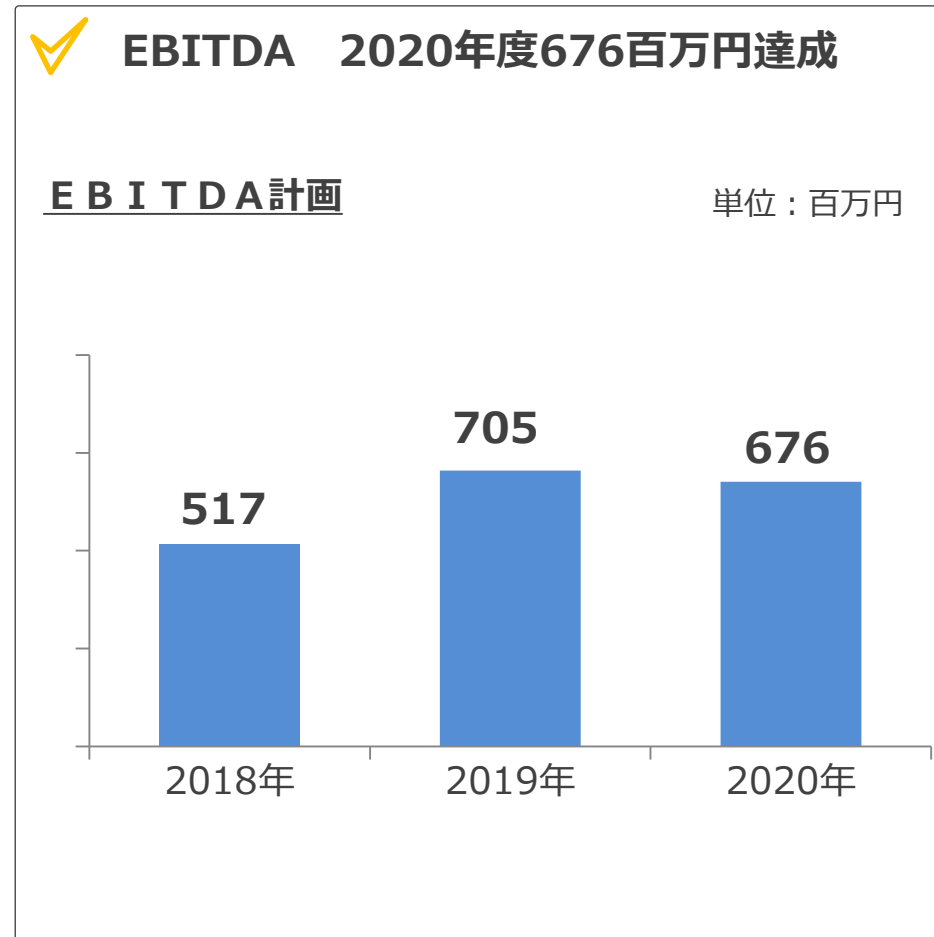
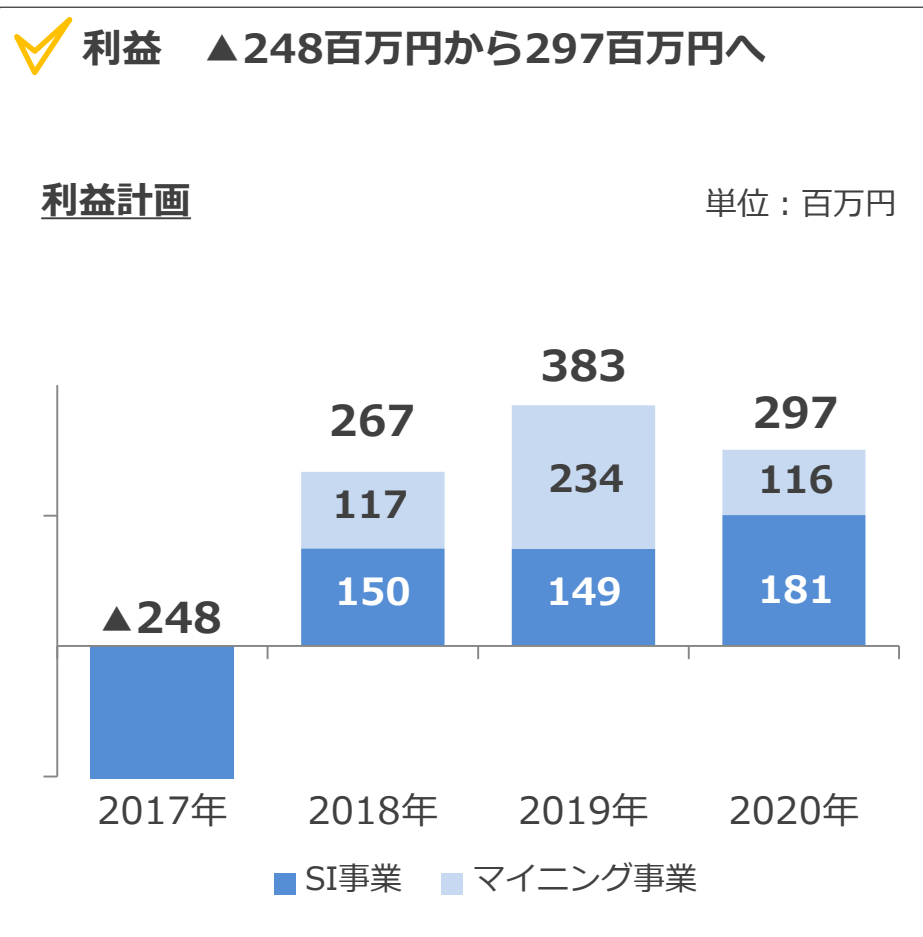
売上高計画

単位：百万円



※Fintech・IoT事業の業績には、2017年に株式譲渡により連結除外した半導体製品の製造・開発事業の業績は含めておりません。

✓ 2020年度 セグメント利益297百万円・EBITDA676百万円



※Fintech・IoT事業の業績には、2017年に株式譲渡により連結除外した半導体製品の製造・開発事業の業績は含めておりません。

✓ 2020年度 セグメント売上高1,300百万円

実施する施策

国内外IR事業者との事業提携

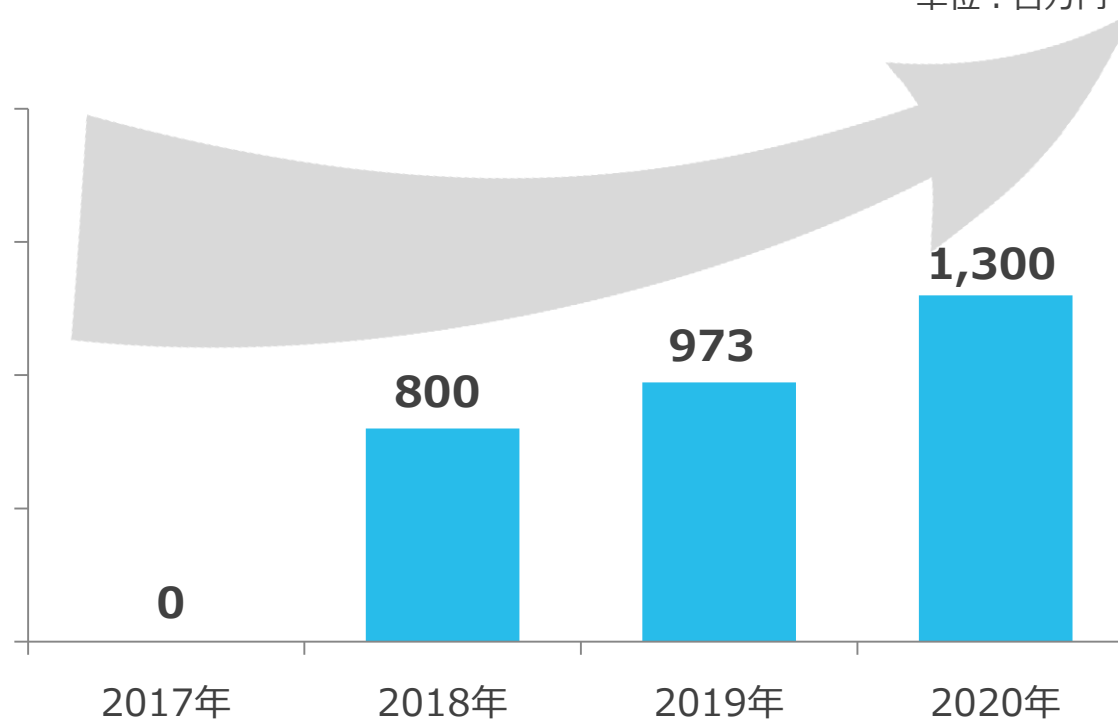
各国カジノ運営施設へ販売展開

オリジナルコンテンツのPR強化

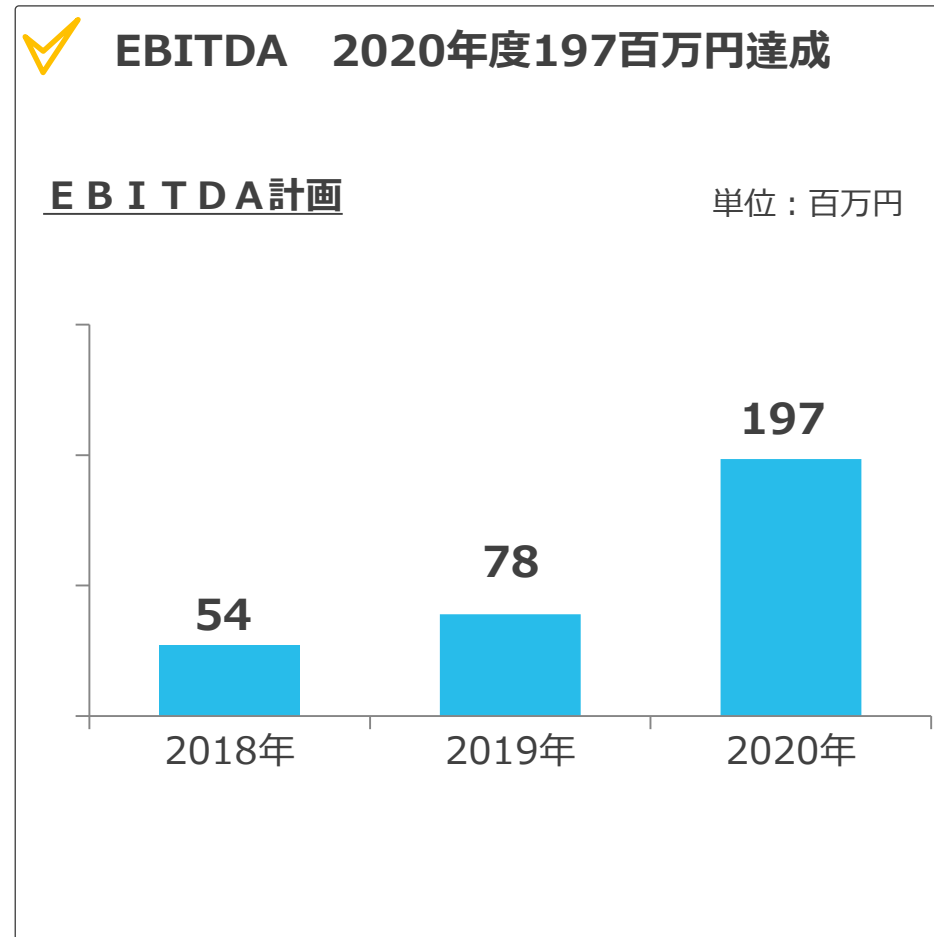
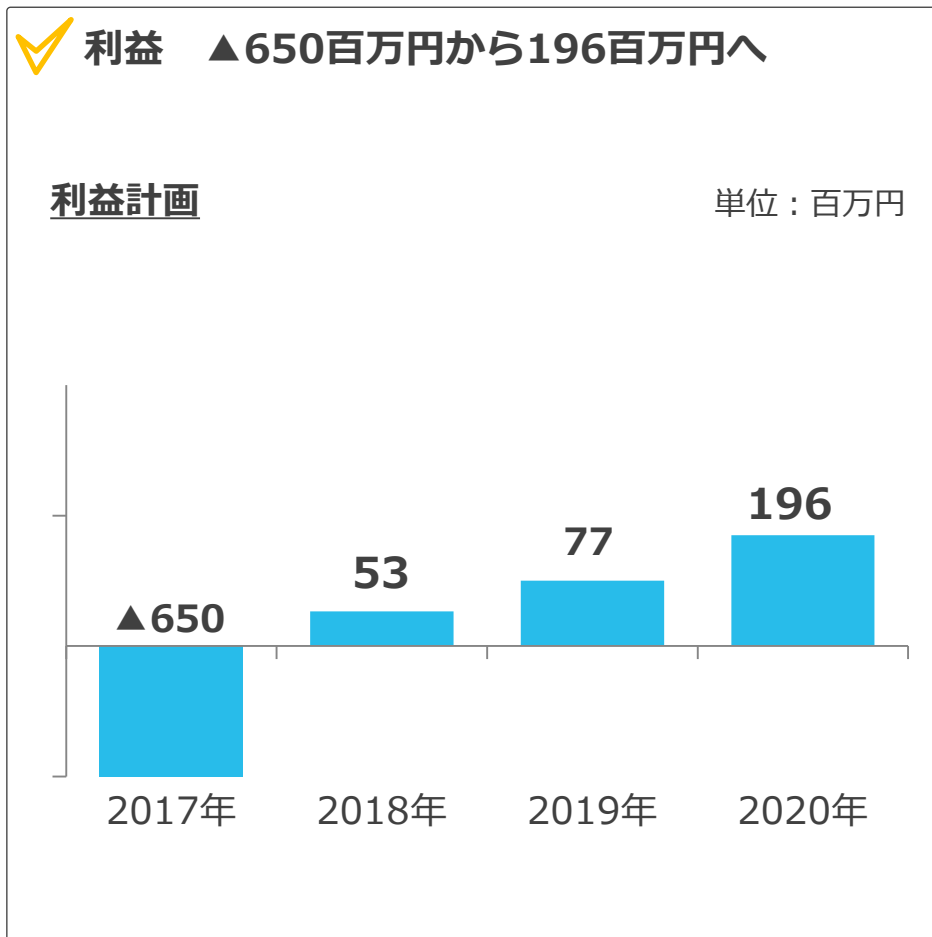
グローバル人員の獲得・育成

売上高計画

単位：百万円



✓ 2020年度 セグメント利益196百万円・EBITDA197百万円



✓ 2020年度セグメント売上高 2017年度比47%増加

実施する施策

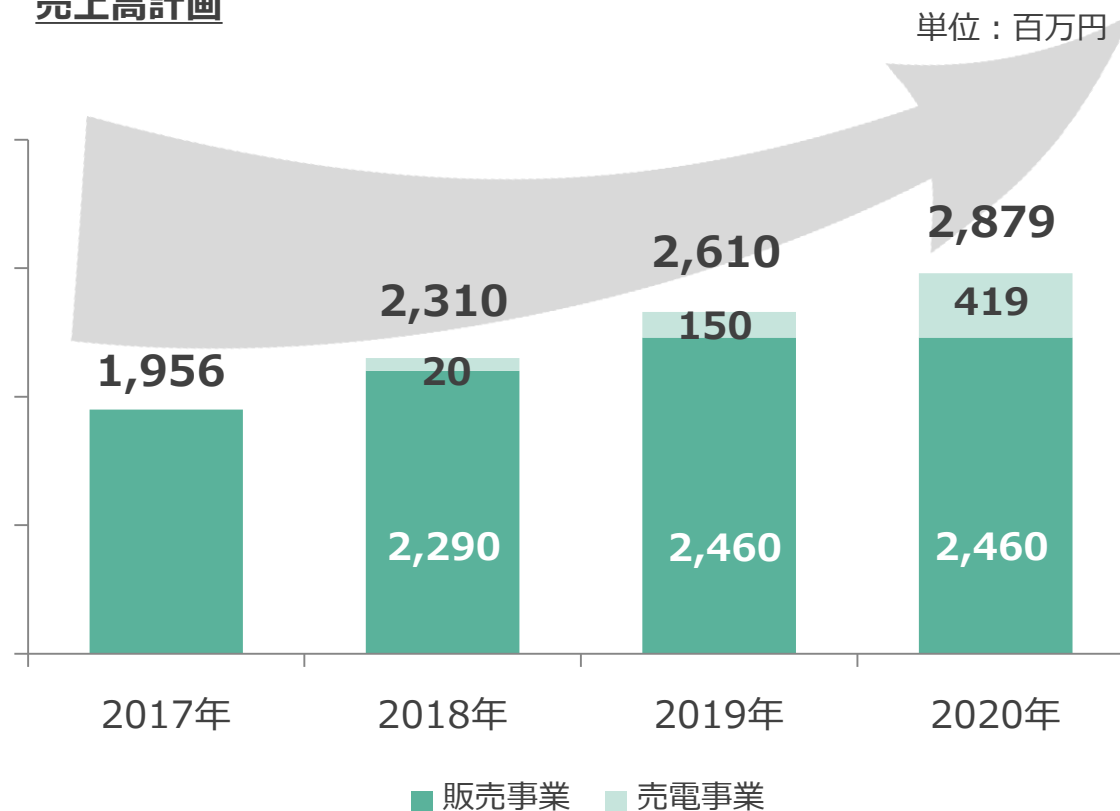
支店開設、仕入ルート強化拡大

中古太陽光発電市場へ参入

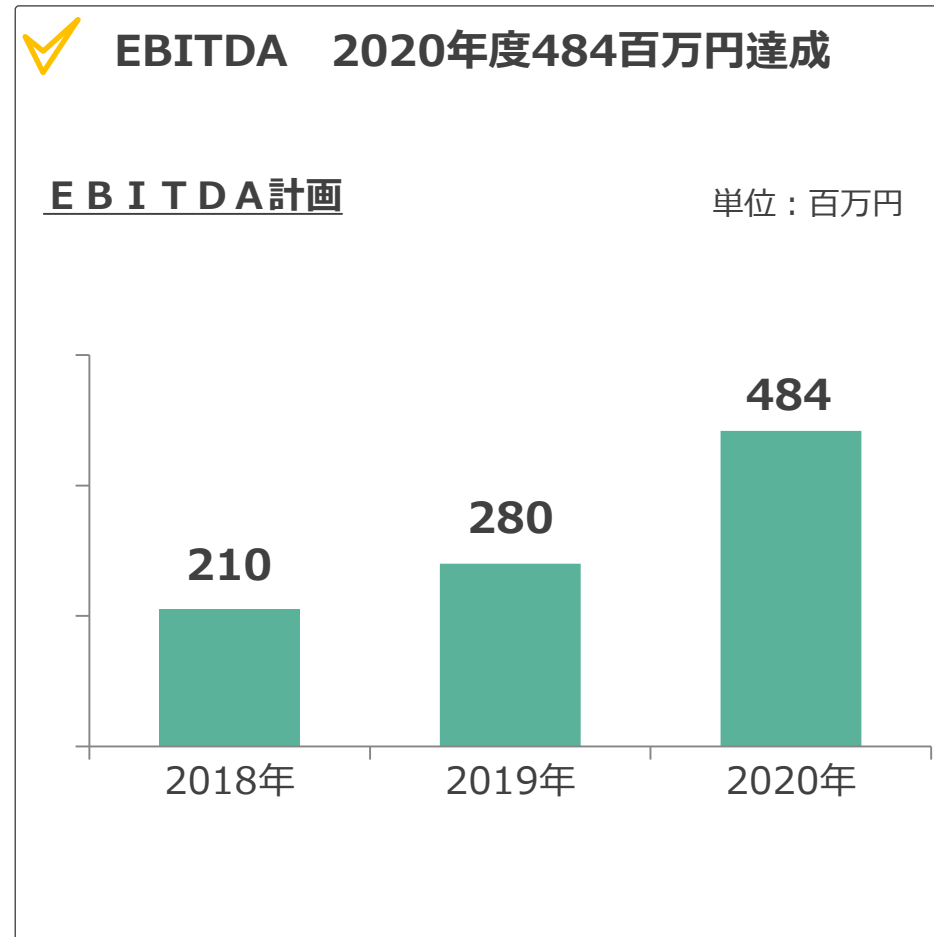
売電太陽光発電施設21MW保有

売上高計画

単位：百万円



✓ 2020年度 セグメント利益244百万円・EBITDA484百万円



■ 免責事項

本資料に記載されている、当社グループの現在の計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しです。

将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事、状況に関する説明における「確信」「期待」「計画」「戦略」「見込み」「想定」「予測」「予想」「目的」「意図」「可能性」やその類義語を用いたものに限定されません。

口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの見通しまたは試算に関する情報は、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しです。

実際の業績には、多くの重要なリスクや不確実な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いします。

また、新たな情報、将来の事象、そのほかの結果にかかわらず、当社グループが将来の見通しや試算を見直して改定するとは限りません。当社グループはそのような義務を負いません。

また、本資料は日本国内外を問わずいかなる投資勧誘またはそれに類する行為のために作成されたものでもありません。